

# 入院診療計画書 上肢骨折手術 No.1

ID ( ) 氏名 ( ) 様 病名 ( ) 説明日 ( 年 月 日 )  
 病棟 ( ) 担当医師 ( ) 看護師 ( )

月/日	／	／	／
経過	外来（入院まで）	手術前日	当日（術前）
目標	1. 不安無く入院が出来る 2. 検査や手術について理解できる	1. 入院・治療・手術について理解できる 2. 手術のための身体的準備が出来る	
検査	入院に必要な検査を行います <input type="checkbox"/> 血液検査 <input type="checkbox"/> 検尿 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 心臓エコー <input type="checkbox"/> レントゲン <input type="checkbox"/> ( )	・ 必要時、外来で採血やレントゲンがあります  	
処置	・ 主治医より手術について説明があります（入院後、病棟でされる場合もあります） ・ 手術室の看護師より説明があります ・ 薬剤師より薬の説明があります ・ 口腔内の状態確認のため、歯科受診があります ・ 手術当日に入院する場合、麻酔科医師より説明があります。	・ 主治医より手術について説明があります（外来でされている場合もあります） ・ 手術室の看護師より説明があります ・ 麻酔科医師より説明があります ・ 薬剤師より薬の説明があります  ※ 痛みが強い場合や腫れが強い場合はクッションなどで骨折部位を挙上し、氷枕で冷やします。	・ 手術衣に着替えます（下着はパンツのみ着用可です） ・ 全身麻酔の手術の場合は血栓を予防するための靴下をはきます ・ 点滴の針を刺す時の痛みを和らげるためのテープを貼ります
薬 点滴	・ 状況に応じて、薬が処方されることがあります ・ 手術のため、普段飲まれている薬を休薬していただくことがあります { / } からは以下の薬を飲まないでください	・ 眠れないときは睡眠剤の内服も可能です 遠慮なく申し出てください ・ 痛みがあるときは鎮痛剤の内服も可能です 手術の時間によって内服できる時間帯が異なりますので看護師にご相談ください	・ 手術室で抗生剤の点滴をします
活動		骨折している腕は安静にしてください (指示された方法、三角巾や'スバント'で固定してください) それ以外の日常生活は普段と同じです	
排泄	・ 特に制限は有りません	・ トイレでの排泄が可能です。特に制限はありません。	
清潔	・ 痛みがなければ入浴できます	・ ベッド上で体を拭きます  ・ 痛みがなければ入浴できます	・ 朝に洗面、洗顔を済ませてください。できない場合はおしぼりをお渡しします
食事	・ 特に制限は有りません	・ 年齢、治療に応じた食事です ・ 手術前日 時以降絶食となります  水分は(お茶・水のみ)です	・ 絶食です。 アメ・ガム・タバコも口にできません ・ 飲水は ( ) 時まで可能です
その他	<input type="checkbox"/> 手術同意書 <input type="checkbox"/> アレルギーの有無：有・無 <input type="checkbox"/> 45Lサイズのゴミ袋5枚（入浴時に使用します） <input type="checkbox"/> 術前看護外来受診 <input type="checkbox"/> 歯科受診 ( / ) <input type="checkbox"/> 入退院支援窓口での説明 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルスPCR検査 ( / )	・ 入院までに飲まれている薬があれば提出してください ・ 手術同意書 その他書類は記入して看護師にお渡しください ・ 化粧や手足のマニキュア・ジェルネイルなどは全て落としてください ・ 骨折している腕に湿布は貼らないでください	・ 手術室へ行く前に、メガネ・コンタクトレンズ・腕時計 義歯・アケサリ・補聴器などの装飾品はすべてはずしてください ・ 貴重品はご家族が管理してください
特別な栄養管理の必要性		有	

注1) 病名・入院期間等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わり得るものです。

注2) 病状等により担当スタッフが変更になる場合がありますので、ご了承下さい。

注3) 病室は、緊急入院の関係上、入院日当日にご案内いたします。また、病棟においても変更の可能性がございます。

本人(又はその代理人)署名

(続柄: )

文書コード【 】

月/日 経過	手術直後	手術後1日目
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 全身状態が安定している</li> <li>2. 創部の腫れや赤みがない</li> <li>3. 痛みのコントロールができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 血圧、脈拍、熱、呼吸状態が安定している</li> <li>2. 感染の徴候がない</li> <li>3. 痛みのコントロールができる</li> <li>4. リハビリが開始できる</li> </ul>
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術室でレントゲンを撮ります </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採血があります </li> </ul>
処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術後、酸素吸入をします</li> <li>・心電図モニターを装着します</li> <li>・ギプスやシーネ固定をしていることがあります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨折部位の腫れをひどくしないために氷枕で冷やします</li> <li>・歩行ができたなら 血栓予防の靴下をぬぎます</li> </ul>
薬 点滴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点滴をしています。5時間程度で終了です</li> <li>・抗生剤の点滴をします</li> <li>・痛みが強い場合は、点滴や座薬の鎮痛剤を使用します。水分が飲めるようになっていれば飲み薬の鎮痛剤も服用できます。看護師に相談してください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝と夕に抗生剤の点滴があります</li> <li>・痛み止めの飲み薬が処方されます </li> </ul>
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術後3時間経過すると歩行が可能になります。初回の歩行は看護師が付き添います</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示された固定方法を守り普段通りの生活が可能です（三角巾・バスタバンド・ギプスなど）</li> </ul>
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尿管が入っている場合があります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレで排泄できます</li> <li>・尿管が入っている場合は抜きます</li> </ul>
清潔		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を拭き、着替えをします</li> <li>・創部をぬらさなければシャワーが出来ます 最初は看護師が付き添いますので、看護師にお知らせください</li> </ul>
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・術後3時間後より飲水が可能です</li> <li>・水分が問題なく摂取できれば食事摂取が可能となります 初回水分摂取時は看護師が見守ります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療、年齢に合わせた食事になります</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術後主治医より御家族に説明があります</li> <li>・手術の間はご家族は病室でお待ちください。院外へ出られる際はナースステーションへお知らせください</li> <li>・全身麻酔の影響で酸素の取り込みが弱くなっています。深呼吸をするようにしてください ※手術後、今まで以上に骨折部が腫れ、むくみます。腫れを少しでも早く引かせるために手・指を積極的に動かして循環を良くしてください</li> <li>・術後創の痛みが和らぐようにアイスノンで創部を冷やします</li> </ul>	

経過	手術後2日目～2週間目まで	
目標	1. 痛みのコントロールができる 2. リハビリが開始・継続出来る 3. 固定や荷重制限の指示を守ることが出来る 4. 血圧、脈拍、熱、呼吸状態が安定している	5. 感染の徴候がない 6. リハビリができる
検査	・術後3日目に採血があります	
処置		
薬・点滴	・鎮痛剤の処方があります	
活動	・歩行が可能です。指示されている方法で固定してください 手・指の運動を痛みに合わせて行なって下さい ・翌日からリハビリが始まります	
排泄	・トイレで排泄出来ます	
清潔	・シャワー浴ができます。 ・ギプスやシーネをしている場合は濡れないようにビニール袋を巻いてシャワーをします。	
食事	・年齢、治療に応じた食事になります	
その他	【下記のような症状があれば、すぐに看護師にお知らせください】 ○突然指先が冷たくなってきた。爪の色が青紫になってきた。 ○指先のしびれが強くなってきた。触っても感じない ○ギプスがきつい  【下記のようなことは避けてください】 ○ギプスの中がかゆいときに細い棒のようなものを入れて搔く ○骨折部位を下敷きにして寝る ○骨折した方の腕で重いものを持つ ○ギプスを濡らす  【退院の準備】 ○手や腕が不自由ですが、暫くはその状態が続きます ○医師の指示のもと、外出や外泊をして家で困ったことをお知らせください ○入院中のリハビリだけでなく日常生活で動かす事が何よりのリハビリになります 通院してリハビリをすることも可能です	